

---

ぬこ。

厨房ですが何か？

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ぬこ。

### 【Nコード】

N1837P

### 【作者名】

厨房ですが何か？

### 【あらすじ】

瑞樹とクッキーのゆったりとした生活風景を書いたものです。

## 第一話　うちのぬい。

俺の名前は坂崎瑞樹。さかざきみずき 何処にでもいるような男子高校生の1年だ。中学では、リーダーシップのある奴について行く様な、ごく普通の背景キャラだ。

俺の家族を紹介しておこう。まず母さん。父さんは12年前に死にしまった。交通事故だったらしいが、その時俺はまだ3つだ。全く覚えてないはずだ！今高校3年の姉ちゃん、坂崎魅琴。さかざきみこと 同じ高岡たかおか高校に通っていて、学年一のエリートらしく、成績優秀、スポーツ万能らしい。が、とても背が小さい！俺より頭1つ分ぐらいか？よく俺の妹と勘違いされる。

そして、俺が飼っている猫。名前はクッキー。コイツは俺や母さんには懐いているんだが、何故か姉ちゃんにはキバを向く。俺のベツトに住み着いている・・・。可愛いからいいがな、ははは・・・。ちなみにペルシャのような灰色の毛並みだ。

コイツがああなるとは誰も予想できなかった・・・

時は7月、終業式の朝。

「おい、ミズー！」

俺は瑞樹から取って「ミズ」といった愛嬌で呼ばれる。

「松ちゃんか？おはよー」

「なあなあ、見たか？」

「なんのことだか説明してくれ」

「はーん、さてはシラを切る気か？ジョーダンが下手だなあ」  
だから知るかって！

コイツは松江田流。まつえたりゅう 略して松。俺と同じアニメ好きである。俺よりオタク気味の同級生だ。高岡高校で知り合ったが、とても気の合う親友で仲が良い。

「新しいアニメだよ！知ってんだろ？」

「あああれか、「キャツ徒！」・・・だったか？」

コイツは猫とか、獣系のであるアニメが好きらしい。ちなみに俺はクッキーがいるので興味はない。

終業式が終わった。教室も騒がしい。まあ俺は美術部なのでささと帰るとしよう。すると、帰り道、松ちゃんに、

「今日オマエんちで遊べねえか？」

「おゝいいぞ。暇だしな。」

「カズも呼んでいい？」

なかむらかずき

カズとは、中村一輝だ。とても無口な読書好きなヤツなんだが話は合う。アニメはだいたい小説 漫画 アニメで作られているからな。

「わかったよ、じゃ後でな」

俺の家は学校の裏にある。ちなみに松ちゃんやカズも近くに家があるので、多分さつさと来るだろう。クッキーが狙いなんだろう、アイツ。

「おゝいミズ？いるんだろ？開けろって・・・おう！久しぶりっ！」

「2分ぶりだな。さゝ入れ」

「お邪魔するぜ。カズも行くぞ」

「・・・了解した」

軍人かよ・・・愛想悪リイなあ。いつもどおり。

そして、楽しい時間は過ぎていった・・・

「アイツ・・・遠慮ってものがないのか？」

そこには大量の菓子の袋が。せめて片付けて欲しいものだ。

「ん？これは何だ？」

そこには見慣れない形の銃が。銃口が猫っぽくなっていて、持つところは毛が植えつけられている・・・。気持ちいい〜〜〜が、ク

ツキーの背中の中の毛のほうがもつと気持ちいいハズだ。猫の手のような引き金もある。

「キヤツ徒のアイテムか？」

身振りをつけ、クツキー向けて引き金を弾いてみる。

「ズガアアアアアアアン！！」

狭い部屋で半端じゃない大音響。そして煙。さすがにコレは予測出来なかった！とつさに耳を塞ぐ。部屋がミシミシと音をたてる。・あああ本棚が倒れた。まあ1mぐらいのちっこいのだから良いが・・・じゃなくて！クツキーはどうなった！？

「にやあ．．．っ」

ベットに女の子（？）がっ！．．．他人じゃないとしたら、まさか．．．．．？

「どちらサマでしょうか．．？」

すくつとベットから立つ。

「クツキーだニヤ」

少し抵抗を持って発言をしてほしい。．．．マジっすか！？

「なんでこんな人間の形なのかニヤ？」

灰色のネコミミ、ちよつとカール気味の金髪のショート、猫のような口・歯、どっかの民族衣装みたいな服、何故かニーソックス。面影はあるようなないような．．．

「おゝい」

なにっ！松ちゃんの声が！

「隠れる！」

と小声で言うつとベットの下に隠れてくれた。

「どうしたんだ？」

平穏な様子を装ってみる。

「その銃を返せ」

「取ったわけじゃないだろ。ホイ」

投げてわたした．．．すると！

こちらに銃口を向けている！とつさに耳を塞ぐ。が．．．

「ばん」

可愛い音が出ただけだった。啞然。大音響はどうした!?

「どうした? 爆発でもするかと思ったか?」

当たり前だ、と言わんばかりに頷く。

「ばーか」

そう言い残して帰っていく。どうなっているんだ・・・夢か? しかし概にクッキーは人間になってベットの下からはい出てくる。クッキーそっくりだ。否定できん・・・

「よろしくだニャ!」

俺の夏休みはどうなることやら・・・

## 第一話　うちのぬこ。（後書き）

ご購入（買）ってないけどw（ありがとうございます。  
初投稿です。お気にめされると何よりです〜

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1837p/>

---

ぬこ。

2010年12月3日21時24分発行